「ノート」「ノート オーラ」が2022年次「RJCカーオブザイヤー」を受賞

「ノート」、「ノート オーラ」累計受注台数10万台突破

日産自動車株式会社　　2021年11月09日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役社長：内田 誠）は特定非営利活動法人（NPO）「日本自動車研究者・ジャーナリスト会議（RJC）」が主催する「第31回（2022年次）RJCカーオブザイヤー」において、「ノート」「ノート オーラ」（※1）が、本日11月9日（火）に「RJCカーオブザイヤー」を受賞したと発表しました。

11月9日に実施された「RJCカーオブザイヤー」最終選考会にて、「ノート」「ノート オーラ」はコンパクトカーの常識を変える運転の快適さ、躍動感と先進性を感じるデザインなどが高く評価され、「RJCカーオブザイヤー」に選出されました。

昨年12月にフルモデルチェンジした新型「ノート」は、第2世代「e-POWER」と新開発プラットフォームの採用によるスムースで力強い「加速」や、なめらかな「減速制御」、優れた「静粛性」などが多くのお客さまから高く評価いただいています。加えて、電動化の時代を訴求する先進的なエクステリア、インテリアも人気を博しています。

また、本年8月にプレミアムコンパクトとして新規投入した新型車「ノート オーラ」は、細部に至るまで“上質”にこだわったインテリアや、最高出力100kw、最大トルク300Nmのスムースで力強い走りの第2世代「e-POWER」に加えて、クラスを超えた静粛性と国内初採用の「BOSEパーソナルプラスサウンドシステム」の組み合わせが、多くのお客さまから好評を得ており、「ノート」及び「ノート オーラ」の累計受注台数は「ノート」発売から約10ヵ月で10万台を突破しました。（※2）

※1 ノート、ノート オーラ、ノート オーラ NISMO、ノート AUTECH CROSSOVERの4車種が対象

※2 累計受注台数：100,261台（10月31日時点 日産調べ）